

患者さんへ

「データマイニングを利用した血液検査項目からの膵がん診断支援法の検討と医療経済学的評価に関する研究」について

神戸大学医学部附属病院医療情報部では、現在、膵がん患者さん、非膵がん患者さんを対象に「データマイニングを利用した血液検査項目からの膵がん診断支援法の検討と医療経済学的評価に関する研究」を実施しております。内容については下記のとおりです。

尚、この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

【研究概要および利用目的】

神戸大学医学部附属病院医療情報部では、膵がんにおいて、

1. 膵がん患者さん、非膵がん患者さんの一般的な患者情報・検査項目に対してデータマイニング・テキストマイニング手法を使って、膵がん患者に関連する項目の抽出とその利用による判別分析の精度向上による診断支援法確立の可能性を検討
2. 切除不能進行膵がん患者に対する化学療法（ティーエスワン単独療法、ゲムシタビン単独療法、ゲムシタビン・ティーエスワン併用療法あるいはゲムシタビン・エルロチニブ併用療法）を医療経済学的な視点で評価する方法の検討

を目的に、電子カルテのデータの分析を基にした研究を実施することといたしました。

【取り扱うデータ】

- ・ 身長、体重、既往歴、服薬歴、喫煙歴、飲酒歴、血液検査データ、投薬情報
- ・ 電子カルテから患者の個人名、住所、電話番号、患者 ID を排除し匿名化したデータ

【個人情報保護の方法】

検査結果などの記録・保管では、患者さんを識別できないよう研究開始時に定めた登録番号を用います。また、記録は暗号化の上で保管します。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本調査に参加いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、調査結果が、膵がんの予後の改善、多くの患者さんの QOL 向上に有用となる可能性があります。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであり、特にありません。

【研究終了後のデータの取り扱いについて】

今回の研究に使われるデータが、今後も病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、データ等を研究終了後も保存させていただき、研究等に使用させていただきます。その際には、個人情報排除し、匿名化した状態でデータを保存させていただきます。保存期間は、研究終了後5年までとし、その後は、外部に漏洩しない適切な方法で情報を廃棄致します。

なお、保存期間中に、ご提供いただいたデータを用いて新たな研究を実施する際には、その研究について、医学倫理委員会でも再度、審査を受けることとなっております。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、個人を特定不可能なデータを資料として使用する研究であることから、本研究に従事する者や第三者を含む全ての人に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【研究参加の取り止めについて】

参加を辞退されたい場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。参加辞退の希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、すでにデータを匿名化していた場合や研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

【問い合わせ窓口】

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

神戸大学医学部附属病院医療情報部 准教授・副部長 高岡 裕

連絡先：078-382-6142